

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	238	学校名	仙台市立大沢中学校	校長名	佐々木 治子
------	-----	-----	-----------	-----	--------

1 取組のタイトル、テーマ 「実践しよう」



2 取組の紹介

(1) 古紙回収

本校では、各教室に古紙回収用のトレイがあり、白紙（白黒印刷）のプリントと色紙（白紙へのカラー印刷を含む）のプリントで分けています。各教室で配付されるお便りや教科で使用する学習プリントは、不足が起きないように余分に印刷されていたり、あらかじめ予備のプリントが入っていたりするなど、残部が発生することがあります。また、教室に掲示されたプリントなども、期間が過ぎれば剥がされて廃棄されることになります。そこで、それらの紙類をゴミ箱に捨てないでクラスごとにその古紙回収用のトレイに入れることにしています。たまった紙類は、毎週金曜日の放課後に、各学級の環境委員が職員室前に置いてある、全体の回収ボックスに入れることになっています。

この活動を通して、学級内では古紙がゴミ箱に入れられることがほとんどなくなるなど、再利用を意識した行動が見られるようになりました。また、白色と色付きの紙をトレイごとに分別したことで自主的にトレイに入れる生徒の姿も見られました。教員もなるべく余分な印刷物が出ないようにすることを心がけています。

(2) 省エネ・節電

本校では、夏はエアコン、冬は灯油ストーブを使用しています。冷暖房については教室を空ける際に、そのことを前時の授業担当の先生に伝え、電源を確実にOFFにしています。学級委員以外の生徒からも冷暖房の電源をOFFにしてほしいと言われたり、教室に教員がいないときには、隣の学級や廊下にいる教員に依頼したりすることもあり、多くの生徒が省エネを意識して生活することができました。

暑いときにはカーテンを閉め、寒いときには休憩時にカーテンを開けて日光を取り入れ、天井に設置してある扇風機を使って暖かい空気を循環させるなど、様々な工夫で冷暖房時のエネルギー消費の低減につなげています。

また、移動教室の際に、学級委員は電気を消すことになっています。冷暖房と同様に節電を意識しています。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

学年委員や環境委員を中心に、生徒自らがリサイクルや省エネ、節電を呼びかけたり、それらの活動を実践したりしていく中で、一人一人の環境に対する意識が高まっています。今後も古紙回収など、これまでの活動を継続していくとともに、学年委員や環境委員会だけでなく、生徒会執行部や様々な委員会が連携し、新たな取り組みなどについても模索していきたいと思います。そして、生徒一人一人の環境に対する意識を更に高めていきたいと思います。